

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 組～ 組
 教科担当者： （ A組：松田 ） （ B組：松田 ） （ C組：松田 ） （ D組：松田 ） （ E組：松田 ） （ 組： ）
 使用教科書： （ 日本文教出版 情報 I ）

教科 情報 の目標：
 情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナーについて、情報と情報技術の理解と合わせて身につける。
 【知識及び技能】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力を養うとともに、問題を発展・解決する各団体が情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
 【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションを実現するために必要な情報デザイン・コンピュータを活用するために必要な情報が処理される仕組み、データを活用するために必要な収集、整理、分析、プログラム、ネットワークなどについて理解し、技能を身につける。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することで、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	第1章 情報社会の問題解決 【知識及び技能】 ・情報の特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報に関する法規や制度、情報社会における個人の責任及びモラルについて理解し、それらの背景を科学的に捉え、考察する。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・SNSなどの活用において、自らの行動を振り返り、改善しようとしている。 ・情報システムにおいて、興味・関心をもって自ら考える。	第1章 情報社会の問題解決 1節 情報とメディア 2節 問題解決の考え方 3節 知的財産権 4節 個人情報 5節 情報社会の課題と問題解決 6節 情報技術の発展による社会の変化	【知識及び技能】 ・データ、情報、知識の意味と相互の関係について理解している。 ・情報の特性について理解している。 ・情報と情報の技術の活用で加害者や被害者にならないための注意について理解している。 ・情報社会と人間のかかわりについて考え、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報の特性によって生じる問題点をあげられる。 ・加害者や被害者にならないための注意点を考え、適切に判断することができる。 ・新しい情報社会について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・SNSの活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションでの注意点を考え、自ら行動を振り返り、改善しようとしている。 ・社会の中の情報システムについて、興味や関心をもって自ら考えようとしている。	○	○	○	10
	第2章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、科学的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解して、適切かつ効果的な情報デザインを考える。 ・HTML&CSSの書き方を理解し、情報デザインに留意しながらHPを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らの取り組みを振り返り、評価し改善する。	第2章 コミュニケーションと情報デザイン 1節 メディアとコミュニケーション 1 メディアの変遷 2 メディアリテラシー 3 コミュニケーション手段と特性 2節 デジタル化による表現手段 1 コンピュータとデジタルデータ 2 文字のデジタル表現 3節 情報デザイン 1 情報デザインとは 2 情報デザインのプロセスと問題の発見 3 デザインの要件定義・設計/試作 4 評価と改善・運用	【知識及び技能】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、科学的に理解している。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し、表現する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法を考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・より良いコミュニケーションを行うために自らの取組を振り返り評価し改善することを通して情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	第3章 コンピュータとプログラミング 【知識及び技能】 ・アルゴリズムをわかりやすく表現する方法やプログラミングの流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アルゴリズムをわかりやすく表現する方法を身につけ、プログラミングの設計・作成などのプロセスの過程を通じて、評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に取り組み、自ら結果を振り返って改善する。	第3章 コンピュータとプログラミング 1節 コンピュータのしくみ 1 コンピュータの基本的な構成 2 ソフトウェアとOS 3 2進法による計算 2節 アルゴリズムとプログラミング ・ アルゴリズム ・ プログラミング ・ モデル化 ・ モデル化とシミュレーション	【知識及び技能】 ・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータを活用するとともに、その過程を評価し改善しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決にコンピュータを積極的に活用し、自ら結果を振り返って改善しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○	○	1
第4章 情報通信ネットワークとデータ活用	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	【知識及び技能】 ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素					

3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素などの技術について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの構成要素を選択し、情報セキュリティを確保する方法について考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティを考慮して、情報社会に主体的に取り組む。 	<p>1節 情報通信ネットワークのしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コンピュータネットワーク 2 ネットワークの構成 3 通信方式と階層モデル 4, 5 プロトコル 6, 7 安全な情報通信 <p>2節 情報システムとデータベース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 2 情報システム 3 データベース管理システムとデジタルモデル <p>3節 データの活用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 データの活用 2 データの収集と整理 3～5 データ分析 	<p>素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えようとしている。 ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えようとしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
						合計	70